

令和元年度事業報告書		事業所名	しおかぜアクアジム	作成者	近藤 佳奈	作成日	R2.3.31
目標	本年テーマ	(計画) 心身共に健康で、自立した張りのある生活を送る為に					
		(評価) 個別運動の準備から実施までご自分でして頂く事が習慣化してきている。お出掛け回数は少なかったが、利用者様同士で健康や運動について情報交換をするなど、運動への意欲が少しずつ高まってきた。					
基本処遇及び運営	■令和元年度処遇及び運営方針に対するの評価						
	(計画) ①個々に合った支援をする。ー ・その方の背景を再度全職員で共通認識する。						
	・理学療法士をはじめ各職種連携を取りながら正しい運動を提供し痛みの軽減・日常生活がスムーズに行える様支援する。						
	②生活意欲の増進を図る。ー ・家庭や地域でも役割を持つ為にDSでも役割を持ち、さらに自分で出来る事は自分でして頂く。						
	・行事等に積極的に参加し、行動範囲が広がり生活に張りが持てるように支援する。						
	③気分転換出来たり心の拠り所の場となる様努める。ー ・短時間の中でもしっかりコミュニケーションを取り思いやニーズを把握し対応していく。						
	(評価) ①その方の背景を全職員で共通認識出来るようになってきた。個々に対するの運動の提供等は、理学療法士に相談しながら提供できていたと思う。正しい運動を今後も提供していけるように、全職員のスキルアップを図っていく、						
	②自分で出来る事はしっかりして頂けている。新しい事に対しては出来ないと決めてしまう方も多し、出来る事が1つでも増える様に支援方法を考えていく。						
	③短時間ではあるが楽しい雰囲気づくりは出来ていた。接遇面(言葉使い・距離感)をもう一度考え周知徹底していく。						
	研修・セミナー	■職員研修計画と実績					
		研修名称	参加実績	研修名称	参加実績		
		①普通救命講習	5名				
		②企業価値を上げるための事務管理	1名				
	(効果) ①前回講習を受けてから全職員期間があいていたので、手技を再確認することができた。実際にAEDの使い方や、プールサイドで使用する時の方法や注意点などを聞く事が出来た。 ②財務管理について触れたことがなかった。事業所を運営していきながら、少しずつ身につけていきたいと思った。						
会議・委員会・内部研修	■会議・委員会計画実績・効果						
		会議委員会名	実績・効果	会議委員会名	実績・効果		
		事業者会議	普段の気づいた点等を意見交換し、情報共有ができています。業務改善も積極的に意見を出し合えて	アクアジム個別運動について	新スタッフの為の勉強会だったが現スタッフの復習にもなった。実際運動を体験して、効果を理解し、ご利用者様と同じ目線になる事で、声の掛け方や指導方法を考える事ができた。		
		事故予防会議	同じ事故を起さない為にどうすればいいかを考えて動けるようになってきた。				
		管理者会議	各事業所の取り組みや考え方は参考にしています。ご利用者様が快適に過ごせるような環境作りをして				
		安全衛生委員会	施設設備等の再確認ができています。栄養教室で教わった料理についてご利用者様と話すネタになっ				
		就活委員会	就職フェアへ参加させてもらった。HPリニューアルに向けて、しっかり取り組んでいきたい。				
		親和会会議	労働時間が違う中でも、参加していただけるような企画を考えていきたい。				

■災害訓練計画・実績				
防災・災害	訓練予定月	実施月	訓練目的	訓練評価
	7月	11月	通報・避難訓練(火災)	ボイラー室より出火、駐車場に避難する。準備運動後に行った為、短時間でスムーズに移動できた。今後はプール中の避難訓練を考えていく必要がある。
	11月	2月	避難訓練(津波・地震)	避難経路の確認はできた。実際に車での移動はスムーズにできたが、寸断されてしまった時の事も考え、別のルートも考えておく必要がある。防災グッズについても話し合いたい。

■月別行事・内部研修報告	
月度	
4月	茶話会
5月	菖蒲湯
6月	七夕
7月	かき氷 OS-1(経口補水液)についての勉強会
8月	健康講座 『OS-1(経口補水液)について』
9月	敬老行事 プレゼント
10月	日帰り旅行 (2回) … 香川県高松・屋島方面 救命講習会
11月	創設8周年記念行事 … 茶話会・記念品
12月	ゆず風呂・ゆず茶 アクアジム個別運動について勉強会、企業価値を上げるための財務管理セミナー報告会
1月	初詣 … 鴻八幡宮
2月	健康講座 『立ち座り方』
3月	タオル体操・脳トレ体操 タオル体操・脳トレ体操勉強会

(総評)  
 今年度は、人事異動・退職者・入職者とスタッフの入れ替わりがあり、ご利用者様の混乱を招いてしまった。新スタッフに関してはアクアジムならではの、1日の流れに苦戦しながらも、自分のやり方を見つけて動けてきている。ご利用者様としっかりコミュニケーションを取ってもらい、1人1人の事を知る時間を多く作った事で顔と名前を早く覚えてもらう事が出来た。ご利用者様に関しては、楽しみの1つでもある外出行事が少なかったので残念だと話されていたが、他行事で楽しんで頂けた。また、ご利用者様同士で運動を教えあったり、自宅で行っている運動の情報交換をしている事がよくみられるようになった。アクアジムも8年が過ぎ、年齢と共に認知機能低下や体力的に厳しくなっている方が増えている。一度体調崩すと長引くことが多く長期休まれる方が増え、介護収入の減少につながった。今後も、新規ご利用者様の獲得を継続していき、アクアジムの芯を崩さず、少しずつ進化していける様にしていく。